

総務委員会資料

教 育 委 員 会

令和6年6月26日・27日

1 条例案

第92号議案 県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の特殊勤務手当に関する
条例の一部を改正する条例 …… P 1

2 一般事件案

承認第1号議案 専決処分事件の報告及び承認について〔関係分〕
《令和5年度島根県一般会計補正予算（第11号）》 …… P 2

3 予算案

第87号議案 令和6年度島根県一般会計補正予算（第1号）〔関係分〕 …… P 4

4 報告事項

- (1) 不登校に関するアンケート調査について …… P 7
- (2) 令和7年度全国高等学校総合体育大会（中国ブロック開催）島根県実行委員会の
設立について …… P 10
- (3) 令和5年度島根県内高校3年生を対象とした進路決定に関する意識等の把握に係
る調査について …… P 12

【第 92 号議案】

総務委員会資料
令和6年6月26日・27日
教育庁総務課

県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の特殊勤務手当に 関する条例の一部を改正する条例

1 提案理由

近年の災害の激甚化及び頻発化に対処するため、県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の特殊勤務手当について所要の改正を行う必要がある。

2 改正内容

- ・ 災害応急業務等従事手当の新設

県立学校の教育職員又は市町村立学校の教職員が次に掲げる業務等に従事したときに支給する。

内容	手当額（日額）
(1) 異常な自然現象により重大な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、災害対策本部が設置された地方公共団体の区域に派遣されて行う被災した児童若しくは生徒に対する学習指導その他の学校教育活動の支援に係る業務で心身に著しい負担を与えると教育委員会が認めるものに従事したとき	1,080 円を超えない範囲内において教育委員会規則で定める額
(2) 上記(1)の業務に相当すると教育委員会が認める作業に従事したとき	

※ 夜間（日没時から日出時までの間）に行われた場合は、上記の額にその 100 分の 50 に相当する額を加算

※ 教育委員会が著しく危険であると認める区域で行われた場合は、上記の額にその 100 分の 100 に相当する額を加算

※ 災害応急業務等従事手当と原子力災害応急作業従事手当の併給は禁止

3 施行期日等

公布の日から施行し、令和6年1月1日から適用する。

令和5年度補正予算（3月29日専決処分）の概要について （教育委員会）

令和5年度島根県一般会計補正予算（第11号）

1. 補正予算の概要

（単位：千円）

課名	補正前の額		補正額		補正後の額	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
総務課	66,971,105	53,943,292			66,971,105	53,943,292
給与費	66,823,250	53,795,437			66,823,250	53,795,437
給与費以外	147,855	147,855			147,855	147,855
教育施設課	1,148,345	851,504	△ 37,457	△ 460	1,110,888	851,044
学校企画課	6,283,282	3,941,143	△ 4,947	△ 3,298	6,278,335	3,937,845
教育指導課	2,555,905	1,245,918	△ 2,950	0	2,552,955	1,245,918
特別支援教育課	1,201,013	1,000,485	△ 21,059	△ 13,963	1,179,954	986,522
保健体育課	121,209	107,460			121,209	107,460
社会教育課	441,543	383,873			441,543	383,873
人権同和教育課	44,175	41,112			44,175	41,112
文化財課	1,139,497	798,910	△ 9,467	0	1,130,030	798,910
福利課	215,814	174,556			215,814	174,556
合計	80,121,888	62,488,253	△ 75,880	△ 17,721	80,046,008	62,470,532

※給与費は全額総務課で計上

2. 課別事業別一覧

(単位：千円)

課名	事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	補正額の財源内訳及び概要					
					国庫	使・手	寄・分	県債	その他	一般財源
教育施設課		1,148,345	△ 37,457	1,110,888	△ 19,897	0	0	△ 17,100	0	△ 460
	1 学校施設バリアフリー化事業費	38,756	△ 1,413	37,343						
	2 特別支援学校校舎等整備事業費	161,925	0	161,925	(財源更正) 国庫 344、県債 700、一般財源 △1,044					
	3 公立文教施設災害復旧費	90,570	△ 36,044	54,526						
学校企画課		6,283,282	△ 4,947	6,278,335	△ 1,649	0	0	0	0	△ 3,298
	1 高等学校等就学支援事業費	1,381,900	△ 4,947	1,376,953						
教育指導課		2,555,905	△ 2,950	2,552,955	△ 2,950	0	0	0	0	0
	1 幼児教育総合推進事業費	21,428	△ 2,950	18,478						
特別支援教育課		1,201,013	△ 21,059	1,179,954	△ 7,096	0	0	0	0	△ 13,963
	1 特別支援教育就学奨励事業費	289,737	△ 21,059	268,678						
文化財課		1,139,497	△ 9,467	1,130,030	△ 2,167	0	0	△ 7,300	0	0
	1 埋蔵文化財調査センター事業費	233,316	△ 2,167	231,149						
	2 公立文教施設災害復旧費	59,421	△ 7,300	52,121						

令和6年度6月補正予算案の概要について (教育委員会)

令和6年度島根県一般会計補正予算(第1号)

1. 補正予算の概要

(単位：千円)

課名	補正前の額		補正額		補正後の額	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
総務課	69,806,305	56,437,682	536	536	69,806,841	56,438,218
給与費	69,635,312	56,266,689	536	536	69,635,848	56,267,225
給与費以外	170,993	170,993			170,993	170,993
教育施設課	1,160,361	926,633			1,160,361	926,633
学校企画課	5,990,989	3,741,836			5,990,989	3,741,836
教育指導課	1,730,152	1,222,169	80,000	0	1,810,152	1,222,169
特別支援教育課	1,315,371	1,137,582			1,315,371	1,137,582
保健体育課	240,774	229,735			240,774	229,735
社会教育課	675,177	455,424			675,177	455,424
人権同和教育課	41,659	38,269			41,659	38,269
文化財課	1,627,709	821,349			1,627,709	821,349
福利課	248,081	198,361			248,081	198,361
合計	82,836,578	65,209,040	80,536	536	82,917,114	65,209,576

※給与費は全額総務課で計上

2. 課別事業別一覧

(単位：千円)

課名	事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	補正額の財源内訳及び概要					
					国庫	使・手	寄・分	県債	その他	一般財源
総務課		69,806,305	536	69,806,841	0	0	0	0	0	536
	1 職員給与費（特別職給与・委員報酬）	31,536	536	32,072	<ul style="list-style-type: none"> 特別職報酬等審議会の答申等に基づき、特別職の職員等の給料の月額等を増額 					
教育指導課		1,730,152	80,000	1,810,152	80,000	0	0	0	0	0
	1 未来の創り手育成事業費	603,336	80,000	683,336	<p>【別紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル等成長分野を支える人材育成のために校内環境整備を行う国庫補助事業の採択数に応じ予算を増額（高等学校DX加速化推進事業） <ul style="list-style-type: none"> R5. 2月補正（初日） 150,000千円（15校×10,000千円） R6. 6月補正 80,000千円（8校×10,000千円） 					

高等学校 DX 加速化推進事業（DX ハイスクール）

1 事業概要

- ・ 大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図る必要
- ・ 情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施し、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校において、必要な校内環境を整備

【補助率等】

- ・ 補助率：国 10/10
- ・ 支援対象：公立・私立の高等学校等（全国で 1,000 校程度）
- ・ 補助上限額：1 校あたり 10,000 千円

【県立高校採択状況】

- ・ 情報科学、松江東、松江工業、松江商業、松江農林、大東、三刀屋、三刀屋掛合分校、平田、出雲工業、出雲商業、出雲農林、大社、大田、島根中央、矢上、江津工業、浜田、益田翔陽、津和野、隠岐、隠岐島前、隠岐水産 計 23 校

2 事業内容（想定される取組例）※具体的取組内容は調整中

(1) 情報Ⅱ等の履修やデジタル課外活動に必要な環境整備

- ・ 高性能PC、3Dプリンタ、レーザーカッター、水中ドローン等

(2) 文理横断的・探究的な学びを促進するためのスペースの整備

- ・ デジタルを活用しながら授業ができるスペースづくりのための什器等

(3) 従来開設されていない専門性の高い教科科目履修のための遠隔通信環境整備

- ・ 大型モニター、集団での学習に対応した高性能カメラ、スピーカー機器等

(4) その他

- ・ カリキュラム・教材開発、教員研修や授業補助の実施（外部委託・専門家による助言）

3 事業費

（単位：千円）

区分	対象校数	事業費	備考
R5年度2月補正（初日） (A)	15校	150,000	全額R6へ繰越
交付決定 (B)	23校	230,000	
R6年度6月補正 (B) - (A)	8校	80,000	

- ・ R5.2月補正では全県立高校の半数程度から申請があるものとして15校分を計上
- ・ 事業の詳細が示されて以降、県立高校に意向調査した結果、23校が申請を希望
- ・ 全国の採択予定数に対し、申請上限数はなかったため、各高校の意向を踏まえて希望校全校分を申請した結果、全校採択

不登校に関するアンケート調査について

1 各調査について

この検証・分析については、以下の調査結果を基に行った。

- (1) 文部科学省 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査
- (2) 県調査「不登校に関するアンケート調査」(令和6年3月4日～3月15日実施)【詳細は別冊1を参照】
 - 調査対象者 : 宍道高等学校(定時制)279人(通信制)1,347人 浜田高等学校(定時制)71人(通信制)247人 全1,944人
 - 調査方法 : Web調査(グーグルフォーム)によりアンケートを実施
 - 調査回答者数: 309人 回答率: 15.9%

- ※1 (2)の調査より、小学校、中学校の時期に不登校を経験したと回答した生徒の実人数は210人
- ※2 ※1のうち、時期がわからないと回答した生徒が2人
- ※3 ※2のうち、【中学校1年生、わからない】と回答した生徒が1人、【わからない】と回答した生徒が1人
- ※4 ※3のうち、【わからない】と回答した生徒1人を除いた209人のデータで検証・分析を行った。

2 小学校在籍時に不登校であった児童について

(単位:人)

		学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	ぐ友い る人じ 問関め 題係を を除 めく	題係教 を職 め員 ぐと 問関	学業 の不 振	安進 路に 係る 不	不部ク 適活ラ 応動ブ 等活 への	題等学 を校 め ぐき るま 問り	不学入 適進 応進 級転 時編 の入	化境家 の庭 急の 激生 な活 変環	方親 子の 関わ り	家 庭内 の不 和	非乱生 行れ活 り遊 び、 ズム の	無 気力 、 不 安	
(1) 令和4年度 文科省調査 小学校不登校児童数 (788人)	主たるもの (一人一選択)	3	62	5	31	0	0	4	27	21	90	8	86	383	68
	割合	0.4%	7.9%	0.6%	3.9%	0.0%	0.0%	0.5%	3.4%	2.7%	11.4%	1.0%	10.9%	48.6%	8.6%
(2) 県調査 小学校不登校経験者 延べ数(167)	主たるもの (一人一選択)	46	16	20	9	0	1	0	1	2	2	0	27	43	
	割合	27.5%	9.6%	12.0%	5.4%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	1.2%	1.2%	0.0%	16.2%	25.7%	
うち、低学年 (1～3年) (39)	主たるもの (一人一選択)	17	2	2	4	0	1	0	0	1	1	0	5	6	
	割合	43.6%	5.1%	5.1%	10.3%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	12.8%	15.4%	
うち、高学年 (4～6年) (128)	主たるもの (一人一選択)	29	14	18	5	0	0	0	1	1	1	0	22	37	
	割合	22.7%	10.9%	14.1%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	0.8%	0.0%	17.2%	28.9%	

※割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

3 中学校在籍時に不登校であった生徒について

(単位：人)

		学校に係る状況							家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
		いじめ	人間関係 をめぐめる 友人を めぐる 友人	教職員の 関係	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動 等への 不適	学校の きまり 等	入学、 進級 編入 の不 適	家庭の 急激な 生活 環境 変化	親子の 関わり 方	家庭内の 不和	生活、 遊び、 非行 乱		無気力、 不安
(1) 令和4年度 文科省調査 中学校不登校生徒数 (1,123人)	主たるもの (一人一つ選択)	7	111	5	60	9	7	4	45	21	54	10	133	515	142
	割合	0.6%	9.9%	0.4%	5.3%	0.8%	0.6%	0.4%	4.0%	1.9%	4.8%	0.9%	11.8%	45.9%	12.6%
(2) 県調査 中学校不登校経験者 延べ数(435)	主たるもの (一人一つ選択)	72	60	33	18	1	9	0	5	7	4		10	62	154
	割合	16.6%	13.8%	7.6%	4.1%	0.2%	2.1%	0.0%	1.1%	1.6%	0.9%		2.3%	14.3%	35.4%

4 「左記に該当なし」の内訳

(単位：人)

		左記に該当なし					
		いがか 要因 かわ きか つ ら か な け	特 に な し	な 画 視 の 影 響 S M N S 動	ト イ ン ゲ ー ム 、 ネ ツ 動	体 調 不 良	無 回 答 ※
(2) 県調査 小学校不登校経験者 延べ数(43)	主たるもの (一人一つ選択)	31	3	3	2	0	4
	割合	72.1%	7.0%	7.0%	4.7%	0.0%	9.3%
(2) 県調査 中学校不登校経験者 延べ数(154)	主たるもの (一人一つ選択)	87	15	4	8	1	39
	割合	56.5%	9.7%	2.6%	5.2%	0.6%	25.3%

※無回答生徒は、不登校の時期を
[中学1年生、わからない]を選択した生徒

5 まとめ

- ・ 今回の調査は、文部科学省調査の対象者のそれぞれの割合を均等に抽出して調査したものではない。現時点で回答ができる生徒のみが回答しているという点に特に留意する必要がある。
- ・ 文部科学省調査では、「左記に該当なし」を除けば、小学校では「無気力、不安」、「親子の関わり方」、「生活リズムの乱れ、遊び、非行」が、中学校では「無気力、不安」、「生活リズムの乱れ、遊び、非行」「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が多い。
- ・ 県調査結果の不登校の主たる要因としては、「左記に該当なし」を除けば、「いじめ」、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」、「教職員との関係をめぐる問題」、「無気力、不安」が多い。
- ・ 不登校を経験した児童生徒本人の受け止めとしては人間関係に起因するものが多い傾向があり、文部科学省調査時に要因を分類している学校との認識に違いがある。
- ・ この調査では、現在の時点で過去を振り返って不登校になったきっかけを回答しているのに対し、学校は調査に回答する時点で、調査項目にある要因に振り分けざるをえないため、外形的な要因を回答する傾向があると思われる。

6 今後の対応

- ・ 不登校のきっかけが、必ずしも学校の捉え方と一致していないことを学校に伝え、教職員一人ひとりの意識を変えていくことが必要。
- ・ 自分の周りの人との関係に何かしらのストレスを感じ、おそらくは、本人が自分でも気付かないうちに内面で抱えていることが徐々に積み重なり、外形的なことが表出して初めて、教職員や周りが気付くことになる。その背景には人間関係の悩みが隠れているかもしれないという視点を教職員が持つことの大切さを学校に伝えていく。
- ・ 児童生徒のわずかな変化などを見逃さないように、教職員一人ひとりが、今以上に高いアンテナを張り巡らし、校内で情報共有し、学校全体で対応してることが有効であり、そのために、教職員に対する研修を充実させ、教職員の意識の変化を図っていく。

令和7年度全国高等学校総合体育大会（中国ブロック開催） 島根県実行委員会の設立について

1 大会概要

令和7年度全国高等学校総合体育大会については、広島県を幹事県として中国ブロックで開催

(1) 大会日程

令和7年7月23日（水）～8月20日（水）

(2) 総合開会式及び島根県の開催競技日程・会場

開催競技等	期日	会場	会場地市町
総合開会式	7/24(木)	広島県立総合体育館	広島県 広島市
体操競技	8/2(土)～5(火)	島根県立体育館 (竹本正男アリーナ)	浜田市
バレーボール (男子)	7/28(月)～8/1(金)	松江市総合体育館 鹿島総合体育館	松江市
レスリング	7/27(日)～30(水)	三刀屋文化体育館アスパル	雲南市
フェンシング	8/5(火)～9(土)	安来市総合文化ホールアルテピア 安来市民体育館	安来市
なぎなた	7/31(木)～8/3(日)	出雲だんだんとまとアリーナ (出雲市総合体育館)	出雲市
カヌー	8/1(金)～5(火)	美郷町カヌースプリント競技場	美郷町

※全体の開催競技日程は、別紙のとおり

2 島根県実行委員会の設立

(1) 目的

令和7年度全国高等学校総合体育大会を開催するために必要な業務を行う。

(2) 設立日及び第1回総会開催日

令和6年4月25日（木）

(3) 構成機関

県、県教育委員会、会場地市町、県高等学校体育連盟、県スポーツ協会、関係競技団体、学校関係団体、その他関係機関

3 会場地市町実行委員会の設立

令和6年6月3日（月） 浜田市、出雲市

令和6年6月14日（金） 美郷町

令和6年6月25日（火） 松江市

令和6年7月上旬（予定）安来市、雲南市

令和7年度全国高等学校総合体育大会競技会場・競技日程

◎:総合開会式 ○:競技種目別開会式 ■:競技種目別開会式後競技 ●:競技 ◆:競技後閉会式 □:閉会式

R6.4.1現在

県名	競技種目	会場 市町村名	競技会場	7月							8月																							
				23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 木	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水		
島根県	体操	体操競技	浜田市	島根県立体育館(竹本正男アリーナ)																														
	バレーボール	男子	松江市	松江市総合体育館																														
			鹿島総合体育館																															
	レスリング	雲南市	三刀屋文化体育館アスパル																															
	フェンシング	安来市	安来市総合文化ホールアルテピア																															
			安来市民体育館																															
なぎなた	出雲市	出雲だんだんとまといアリーナ(出雲市総合体育館)																																
カヌー	美郷町	美郷町カヌースプリント競技場																																
総合開会式		広島市	広島県立総合体育館																															
陸上競技		広島市	ホッスタッフフィールド広島																															
	競泳	広島市	ひろしんビッグウェーブ																															
水泳	飛込	福山市	福山通運ローズアリーナ																															
	ローイング	福山市	ふくやま芸術文化ホール																															
剣道	広島市	広島県立総合体育館																																
		広島県立総合体育館																																
テニス	福山市	ふくやま芸術文化ホール																																
		竹ヶ端運動公園庭球場																																
登山	尾道市	こごかなくんスポーツパークびんご																																
		安芸太田町加計体育館																																
少林寺拳法	安芸太田町	恐羅漢山、十方山、深入山																																
相撲	福山市	エフビコアリーナふくやま																																
弓道	鳥取市	ヤマタスポーツパーク鳥取県民体育館																																
		鳥取県立武道館																																
自転車競技	トラックレース	倉吉市	エースバック未来中心																															
	ロードレース	倉吉市	倉吉自転車競技場																															
ホッケー	鳥取市	とりぎん文化会館																																
		ヤマタスポーツパーク補助競技場																																
ウエイトリフティング	八頭町	鳥取県立八頭高等学校																																
バスケットボール	男子	米子市	米子コンベンションセンター-BIG SHIP																															
	女子	岡山市	ジップアリーナ岡山(岡山県総合グラウンド体育館)																															
バレーボール	女子	岡山市	ジップアリーナ岡山(岡山県総合グラウンド体育館)																															
		岡山市	岡山市総合文化体育館																															
ハンドボール	倉敷市	総社市スポーツセンター体育館(きびアリーナ)																																
		倉敷市芸文館																																
		水島緑地福田公園体育館																																
		中山公園体育館																																
ソフトボール	男子	津山市	津山総合体育館																															
			勝北総合スポーツ公園																															
			津山市加茂町スポーツセンター																															
			津山総合体育館																															
ソフトボール	女子	津山市	勝北総合スポーツ公園																															
			津山市加茂町スポーツセンター																															
			津山総合体育館																															
			勝北総合スポーツ公園																															
柔道	岡山市	ジップアリーナ岡山(岡山県総合グラウンド体育館)																																
ボクシング	玉野市	玉野市総合体育館(レクレセンター)																																
空手道	倉敷市	水島緑地福田公園体育館																																
体操	新体操	下関市	J.COMアリーナ下関(下関市総合体育館)																															
	水泳	水球	山口市	山口きらら博記念公園水泳プール																														
卓球	男子	下関市	J.COMアリーナ下関(下関市総合体育館)																															
			女子	宇部市	宇部市中央公園テニスコート																													
バドミントン	防府市	麒麟レモンスタジアム ソルトアリーナ防府																																
		山口市	維新百年記念公園 維新大晃アリーナ																															
アーチェリー	岩国市		やまぐちリフレッシュパーク																															
		愛宕スポーツコンプレックス陸上競技場																																
北海道	サッカー	女子	室蘭市	①栗林商会アリーナ																														
			日鋼室蘭スポーツパーク(入江運動公園陸上競技場)																															
福島県	サッカー	男子	楡葉町	Jヴィレッジ																														
			楡葉町	楡葉町総合グラウンド多目的運動場																														
			広野町	Jヴィレッジスタジアム																														
			広野町	広野町サッカー場																														
和歌山県	ヨット	和歌山市	ハワイアンズスタジアムいわき																															
			アロハフィールド																															

令和5年度島根県内高校3年生を対象とした進路決定に関する意識等の把握に係る調査について

1 調査の目的

卒業を迎える高校生の進路決定に関する意識等の実態について調査分析し、第2期島根創生計画策定の参考とする。また、島根県教育委員会が行っているふるさと教育推進事業についての効果検証を目的とする。

2 調査概要

県内の公立・私立高等学校及び特別支援学校高等部に在籍する卒業年次生にアンケートを実施。

- ・調査時期 令和5年12月11日～令和6年1月29日
(前回調査：平成31年2月15日～3月8日)
- ・回答数 4,608件 (回収率83.6%)
(前回調査：5,880件 (回収率93.4%))

3 調査結果

- (1) 「ふるさと教育」への評価
 - (2) 地域への意識
 - (3) 卒業後の進路
- } 別紙参照

4 今後の取組

- ・小中学校でのふるさと教育・高校での探究学習の時間の連続性・系統性を考慮した、地域との連携・協働による学習を引き続き推進していく。
- ・高校生の県内進学、県内就職にあたっては、企業の見学や学校説明会が有効なことから、知事部局と連携しながら、大学や企業との連携を強化していく。

調査結果（詳細は別冊2を参照）

※ 太字ゴシック下線部分は、肯定的な回答をした者の割合を前回調査と比較したもので、前回調査から5ポイント以上伸びているもの

(1) 「ふるさと教育」への評価

設 問		2018年度	2023年度	増減
①	小中学校での「ふるさと教育」により、学ぶ喜びや充実感を味わい、学習意欲の向上につながった	82.0%	80.9%	-1.1
②	「ふるさと教育」の中での地域の方々との会話や接することで、コミュニケーションの力や思いやりの気持ちが身についた	83.0%	85.2%	+2.2
③	「ふるさと教育」により、ふるさとへの愛着や誇りを感じるようになった。	83.4%	82.2%	-1.2
④	「ふるさと教育」により、地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業等の知識が修得できた	89.1%	87.0%	-2.1
⑤	「ふるさと教育」が、自分の進路決定に影響している	41.1%	49.1%	+8.0
⑥	「ふるさと教育」が、自分の将来像を描くことに影響している	45.6%	56.1%	+10.5

- ・ ふるさと教育に対する肯定的受けとめ、ふるさとへの「愛着・誇り」に関する数値は高水準を保っている（①・②・③・④）。
- ・ 生徒の進路決定や自分の将来像を描くことに影響していると感じた生徒は大幅に増加（⑤・⑥）。

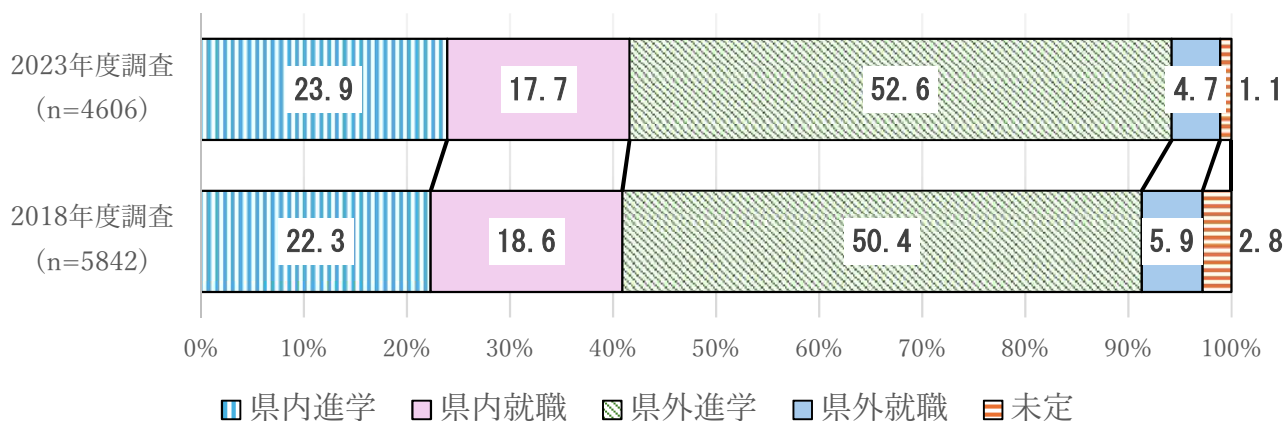
(2) 地域への意識

	設 問	2018 年度	2023 年度	増減
①	生まれ育った地域に興味や関心がある	77.9%	80.7%	+2.8
②	生まれ育った地域への愛着や誇りがある	84.2%	86.6%	+2.4
③	自分が今住んでいる地域の住民との関わり（あいさつ、会話など）がある	84.7%	84.5%	-0.2
④	高校で、地域の課題解決や活性化を目指した学習をしたことがある	68.4%	82.7%	+14.3
⑤	高校生になってから、自分が今住んでいる地域の行事（伝統行事、公民館行事など）に参加したことがある	54.8%	60.6%	+5.8
⑥	高校生になってから、自分が今住んでいる地域のボランティア活動や社会貢献活動に参加したことがある	48.0%	55.0%	+7.0
⑦	卒業後も、自分が今住んでいる地域や島根県に関わりを持ち続けたいと思っている（県外からの関りも含む）	75.6%	76.5%	+0.9
⑧	将来、自分が今住んでいる地域や島根県のために役に立ちたいと思っている（県外からの貢献も含む）	74.1%	76.2%	+2.1
⑨	将来、自分が今住んでいる地域や島根県で仕事をしたいと思っている	65.3%	64.6%	-0.7
⑩	将来、自分が今住んでいる地域や島根県をどんな地域にしたいか希望がある	50.3%	55.0%	+4.7

- ・ 「ふるさと教育」への評価と同様に、ふるさとへの「愛着・誇り」に関する数値は高水準を保っている（①・②・③）。
- ・ 平成31年度から、県立高校魅力化ビジョンにもとづき、地域資源を活用した教育を推進してきたことにより、高校生の地域に関わる学習の機会や、地域活動への参加のポイントが大きく増加（④・⑤・⑥）。
- ・ 卒業後も（地域を離れても）、島根に関りを持ち続けたい、役に立ちたいと思っている生徒の割合は高水準を保っている。（⑦・⑧）
- ・ 将来、島根県で仕事がしたいと思っている生徒のポイントは横ばい。また、地域や島根県の将来について希望を持つ生徒のポイントが増加（⑨・⑩）。
- ・ 総合的に見て、高等学校の総合的な探究の時間の学習が、小中学校で行われたふるさと教育の学習の上に、地域との継続的な関係性を持ちながら積み上がることにより、ふるさとに対する生徒の意識の高まりがみられるとともに、進路選択時の生徒の自己決定によい影響を及ぼしている。

(3) 卒業後の進路

① 「卒業後の進路希望」の比較



注) 2023年度調査:「進学する」が県内か県外かは不明の1件を除く数値。

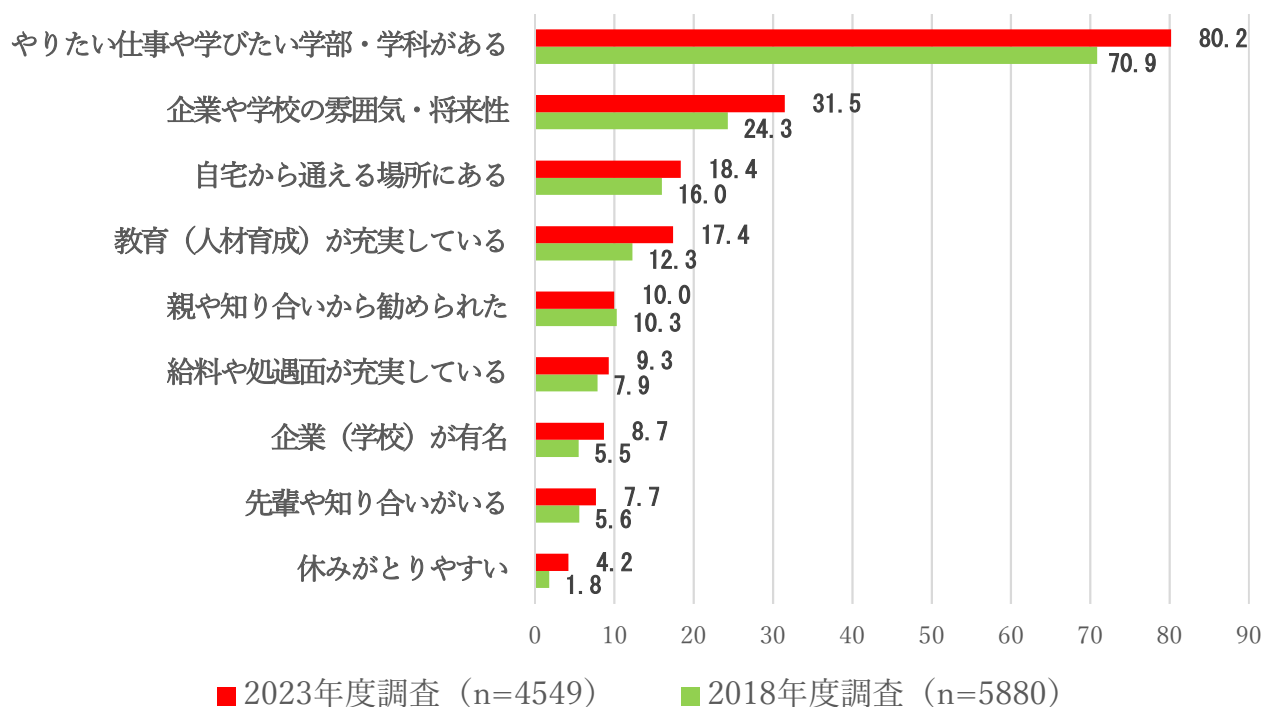
【参考】令和6年3月卒業生の進路状況(確定値)

県内進学	県内就職	県外進学	県外就職	その他・未定
21.8	16.8	52.4	3.9	5.2

注) 令和6年3月末日時点 教育指導課調べ

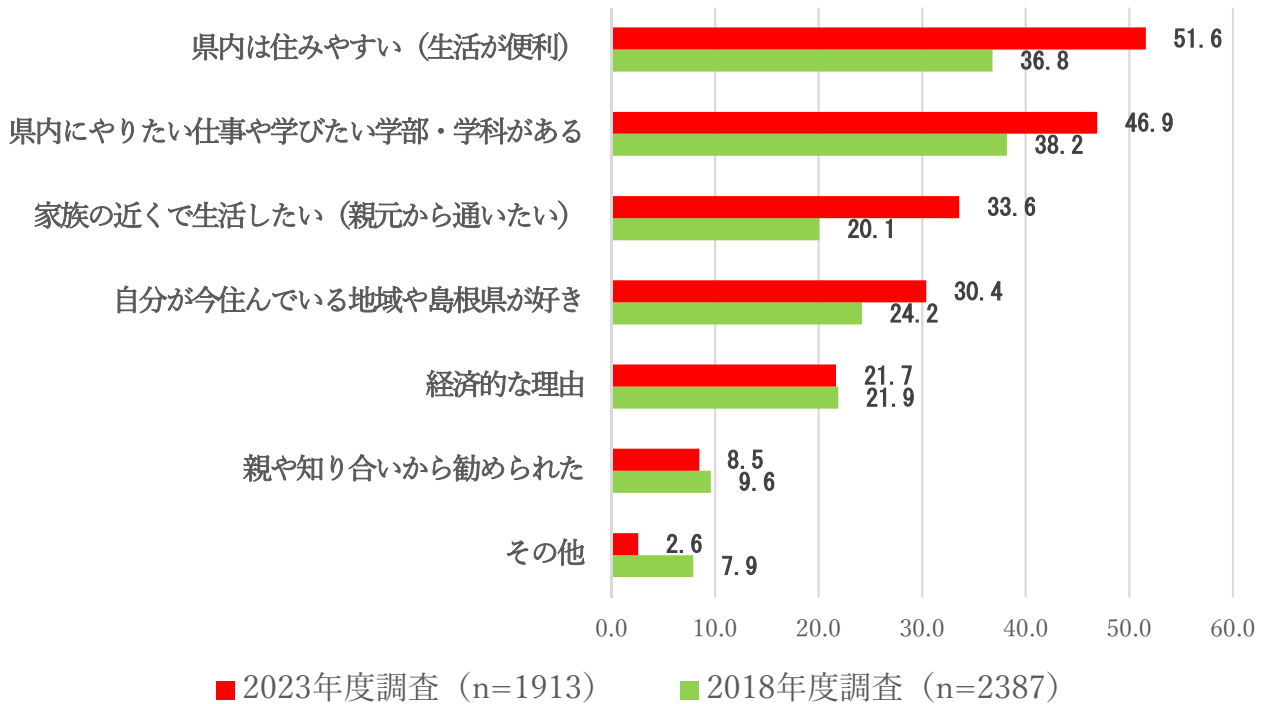
※平成31年3月卒業生の進路状況は、進学者のデータがないため比較できず

② 「進学先・就職先を決めた理由」の比較



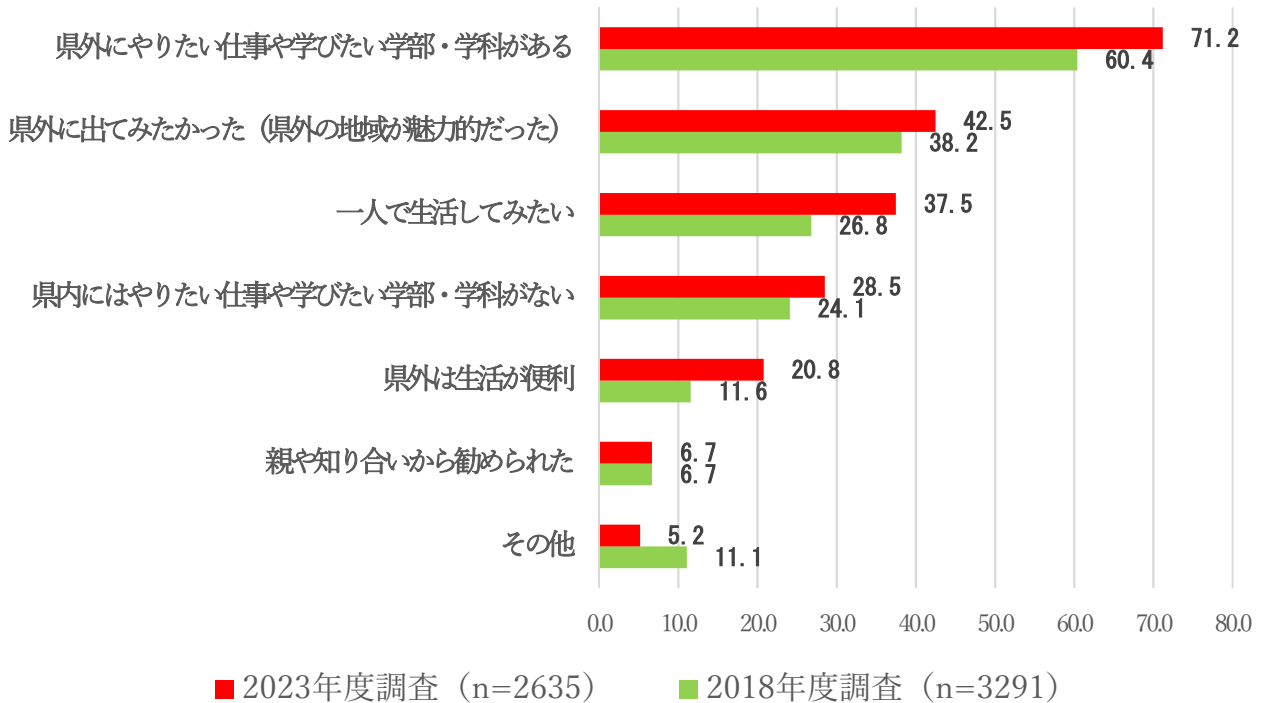
- ・ やりたい仕事や学びたい内容を持った上で、進路決定をする生徒の割合が高い。

③ 「県内への進学や就職を決めた理由」の比較



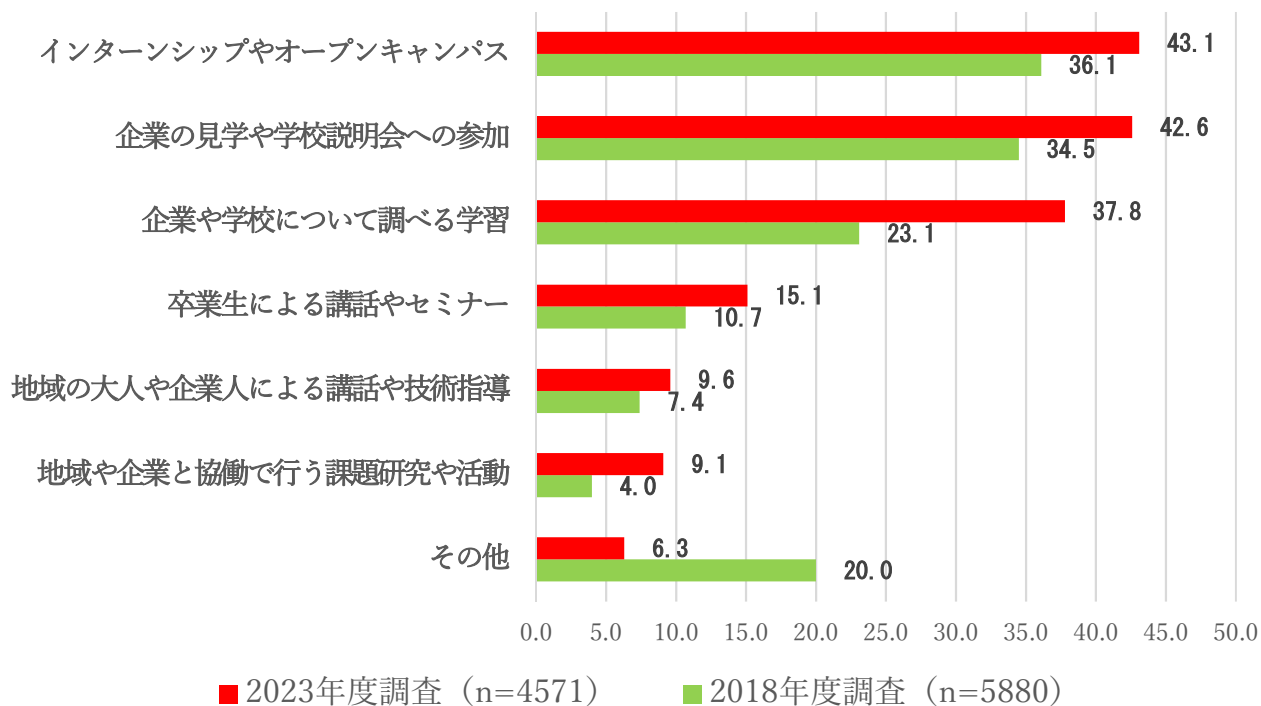
- ・ 県内は住みやすいという理由で県内進学・就職を決めた生徒の割合が高い。

④ 「県外への進学や就職を決めた理由」の比較

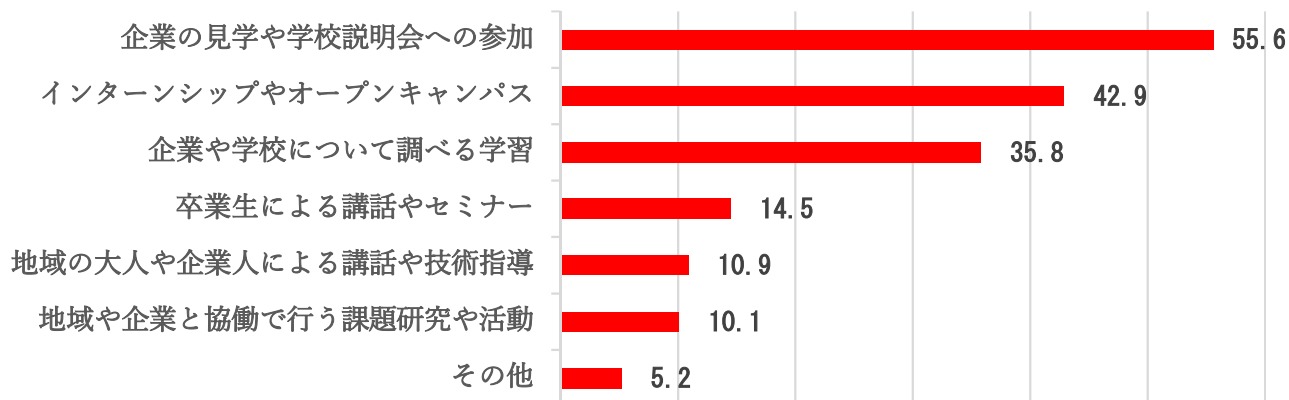


- ・ 県外にやりたい仕事や学びたい学部・学科があることを進路決定の理由とした生徒の割合が高い。

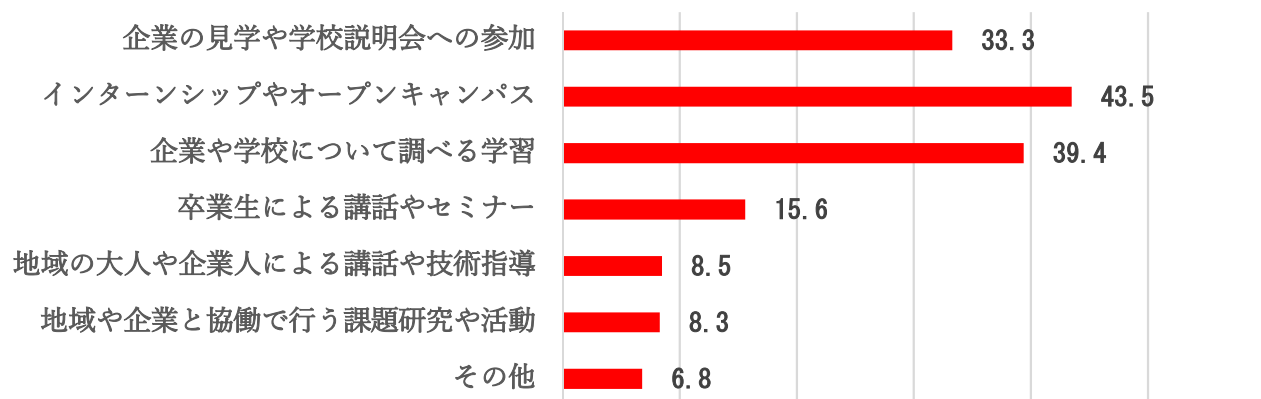
⑤-1 「進路決定にあたり、参考になった高校での取組」の比較



⑤-2 「進路決定にあたり、参考になった高校での取組」の進路先内訳
【県内進学・就職者】(n=1908)



【県外進学・就職者】(n=2612)



- ・ 県内に進学・就職した生徒に対しては、企業の見学や学校説明会、また、インターンシップやオープンキャンパスに参加したことが進路決定に影響している。
- ・ 生徒が自分の進路選択において自分の理由を明らかに持ち、進路決定をしている。
- ・ 県内への進学・就職を希望した生徒については、地域の住みやすさ、家族とのつながり、自分の住んでいる地域や島根県が好きと答えた生徒の割合が多く、島根県に肯定的な思いを持って進路選択していることがわかる。
- ・ 高校の総合的な探究の時間の学習やキャリア教育の中で、地元企業や県内大学等と関わることは、生徒の県内への進学や就職という進路決定に有効である。